

ユニバーサル ひょうご通信

だいごう
第119号



れいわねん
令和2(2020)年
がつにち
6月3日
はっこうひょうごけん
発行：兵庫県



「ユニバーサル」とは「普遍的な」「すべての人の」と訳され、「だれもが～しやすい」「だれもが～できる」という意味で使われています。『ユニバーサルひょうご』は「だれもが暮らしやすく、参加できる兵庫」の意味です。

もくじ

- ① ヘルプマークをご存知ですか
- ② 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」第2回放送内容 (5/18)
- ③ 「ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)」を整備します
- ④ 「ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテスト」受賞作品公開中
- ⑤ コロナに負けない

こまめに手を洗いましょう！

ウイルスのついた手で目や鼻、口などを触ると粘膜・結膜を通して感染することがあります。こまめに石鹸を用いた手洗いやアルコール消毒などをしましょう。



①ヘルプマークをご存知ですか

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。ヘルプマークは、そうした方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるようにすることを目的としています。兵庫県では、平成30年2月より配布をしています。このマークを見かけたら、思いやりのある行動をよろしくお願いします。

ヘルプマークを身に着けている人を見かけたら

- (1) 公共交通機関では、席をお譲りください。
- (2) 駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。
- (3) マーク等に記載された内容に従って配慮・支援をお願いします。
- (4) 災害時は安全に避難するための支援をお願いします。



◆ 配布場所

1. 【県】 兵庫県庁1号館3階ユニバーサル推進課、
健康福祉事務所（芦屋、宝塚、加古川、加東、中播磨、龍野、豊岡、丹波、洲本）
受付時間は月曜日から金曜日（祝日を除く）の9時から17時まで

※郵送・FAX・メールでも申請可能です。

兵庫県ユニバーサル推進課まで申請書をお送りください。

2. 【市町】 各市町在住の方のみ対象

※窓口の詳細については、県ホームページをご覧ください。



申請書は県ホームページでダウンロードできます。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/helpmark.html>

② 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」 第2回放送内容 (5/18)

ラジオ関西で「ひょうごユニバーサル大使」の濱田祐太郎さんに出演いただき、県が取り組むユニバーサル社会づくりの普及を図る番組「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」が始まりました。5月18日放送分を紹介いたします。



今回のテーマは、兵庫県が取り組んでいる「ユニバーサル社会づくり」。兵庫県健康福祉部障害福祉局 羽原局長がゲストで出演しました。

冒頭で局長は「ヘルプマーク」と障害福祉サービスで手作りされた「マスク」について紹介しました。「ヘルプマーク」は障害や疾患などがあり、支援や配慮を必要としている方が、それを周囲に知らせることができるマークです。濱田さんは以前、大阪で声をかけられたときに、「20分ぐらい見ていたんですけど、大丈夫ですか？」と声をかけられ、「長すぎるやろ！」とびっくりしたことがあるそうです。

「マスク」は「播州織のマスク」の紹介。明石にある障害福祉サービス「ステップあっぷ二見」でひとつひとつ手作りされました。濱田さんも丁寧に作られたマスクを実際に手に取り、その大きさや機能性を確かめていました。局長は「県下には障害を持つ人が働く事業所がおおよそ800ある。皆さんが工夫しながら社会に役立つ商品を作っているの、そうした商品をぜひ購入してほしい」と話しました。



番組では、兵庫県が「ユニバーサル社会づくり」を推進するにあたり、柱にしている5つのテーマ「ひと」「参加」「情報」「まち」「もの」についても取り上げ、それぞれ濱田さんの体験談なども交えながら紹介していただきました。例えば「情報」について、濱田さんは最新の情報をテレビやラジオで得ているそうです。電話はスマートフォンではなく、いわゆるガラケーと呼ばれる携帯電話を使っていて、ニュースなどを読み上げてくれるソフトも活用しているとのことでした。また、「点字」はほとんど使っておらず、「音」から得る情報がとても大切だ」と話されてました。



番組後半の障害を持っている方が作った授産品を紹介するコーナーでは、「金ゴマクッキー」と「イチゴクッキー」を紹介しました。このクッキーは西脇市の事業所「ドリームボール」が作っています。西脇市の特産品である金ゴマの栽培を通して、「お菓子を作りたい」という施設利用者の夢が膨らみ、行政関係機関の支援のもとクッキーの試作が始まりました。そして、2019（平成31）年2月に「金ゴマ」と「イチゴ」の2種類が販売されることになりました。

試食した濱田さんは「金ゴマの香がふわーっと口の中に広がっておいしい。クッキーは口の中の水分が奪われるものもあるが、このクッキーはしっとりしてそれがない」と感想を語られました。

購入は、ネット販売「+NUKUMORI」ホームページからぜひどうぞ。

+NUKUMORI ホームページ

<https://www.nukumori-hyogo.com/>

今回は6月15日（月）、ラジオ関西「PUSH!」の15時台で放送されます。お楽しみに!!

③「ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）」を整備します

障害者スポーツのさらなる振興を図るため、県立障害者スポーツ交流館（神戸市西区）の隣接地に、「ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）」を整備します。令和2年度より工事を開始、令和5年度に使用開始予定です。

- ◆整備場所 神戸市西区 曙町
（県立総合リハビリテーションセンター内）
- ◆整備内容 アリーナ、温水プール、卓球室、
アーチェリー場、トレーニング室 等



＜完成予想図＞

④ 「ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテスト」受賞作品公開中

たくさんの方に「ひょうごユニバーサル社会づくり動画コンテスト」の受賞作品を兵庫県のホームページで公開しています。ぜひご覧いただき、ユニバーサル社会について考えるきっかけにしてください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/dougacontst_result.html

⑤ コロナに負けない

～心をこめて マスクを手づくり～

障害者就労支援施設「ステップあっぷ二見」

「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」で紹介した「播州織のマスク」は、この施設で作られました。利用者8人と職員が、型紙を切る人、ゴムを通す人、ミシンを使う人と役割分担をして丁寧に作っています。

以前よりかばんやがまぐち財布等を作成していて、マスクもその一つでした。マスクが品薄になって以降、注目を集めています。

幼稚園児用150円、小学生用200円、女性用250円、男性用300円。

<問合せ先> ステップあっぷ二見 電話:078-942-5323



このコーナーでは、新型コロナウイルスに関する注意喚起や感染防止のための取り組みの紹介を行っていきます。「こんな商品を作っています」「こんな感染防止対策はじめました」等の情報をお寄せください。メール:universal@pref.hyogo.lg.jp

皆様からの情報を募集します

ユニバーサル社会づくりに関する皆様の活動情報・取組事例などをお寄せください。

広くお知らせしたいイベント情報も大歓迎です。(次回は7月上旬発行予定です)

内容確認の上、メールマガジンなどでご紹介いたします。

【編集・発行】兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

メール:universal@pref.hyogo.lg.jp

★ユニバーサル社会についてはコチラ

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/univer.html>

